安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	スムースエポ（ホワイト、グレー）
会社名	パル・ユニット株式会社
住所	東京都板橋区小茂根 4-13-13
電話番号	03-5917-6871
推奨用途	ひび割れ補修用
使用上の制限	推奨用途以外の使用は禁止する
制定・改訂	2024 年 6 月 11 日

２. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性

分類できない	

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分に該当しない
皮膚腐食性／皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分 2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分に該当しない
標的臓器／全身毒性（単回ばく露）	区分に該当しない
標的臓器／全身毒性（反復ばく露）	区分に該当しない
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性　短期（急性）	区分 2
水生環境有害性　長期（慢性）	区分 2
オゾン層への有害性	分類できない

ＧＨＳラベル要素

【絵表示またはシンボル】

【注意喚起語】

警告

【危険有害性情報】

皮膚刺激

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

長期継続的影響によって水生生物に毒性

【注意書き】

《安全対策》

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は汚染箇所を石鹸等でよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

《応急措置》

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを装着していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

特別な処置が必要である。（SDSの 4.応急措置を参照）

皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当を受けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合には洗濯をすること。

漏出物を回収すること。

《廃棄》

内容物／容器を法令に従って適切に廃棄すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分　　混合物

化学名又は一般名　　一成分形エポキシ変成シリコーン系弾性接着剤

成分及び濃度又は濃度範囲

成分	CAS NO.	含有率(%)	官報公示整理番号（化審法）
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	25068-38-6	1-10	7-1279/7-1283
アミン化合物	社外秘	1-10	社外秘
酸化チタン	13463-67-7	5 未満	1-558
スズ化合物	社外秘	0.1-1	社外秘

４．応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で安静にさせる。 直ちに医師に連絡し、医師の手当、診断を受ける。 呼吸が止まっている場合、又は呼吸が弱い場合には衣類を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸（又は、酸素吸入）を行う。
目に入った場合	直ちに清浄な多量の水で最低 15 分間洗い流した後、速やかに専門医の手当てを受ける。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸でよく洗う。 付着物を布にて拭き取る。 外観に変化が見られたり、かゆみや炎症がある場合には専門医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中を良く洗い、医師の診察を受ける。 無理に吐かせてはならない。 被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
最も重要な兆候および症状	情報なし
応急措置をする者の保護	情報なし
医師に対する特別注意事項	情報なし

５．火災時の措置

使用可能消火剤	粉末ドライケミカル、乾燥砂、二酸化炭素、泡消火剤
使用してはならない消火剤	情報なし
火災時特有の危険有害性	情報なし
特定の消火方法	火災が広がったときは大量の噴霧水で消火する。 消火活動は可能な限り風上から行う。 可燃性のものをすばやく周囲から取り除く。
消火を行なう者の保護	消火者は必ず適切な保護具を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	曝露防止のため、作業の際には適切な保護具を着用する。 付近の着火源、高温体および付近の可燃物をすばやく取除き、風下の人を避難させ、関係者以外の立ち入りを禁止する。

着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項　漏出液を下水や側溝等に流してはならない。
少量漏出の場合にはウエス等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。
大量漏出の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材　危険でなければ漏れを止める。
乾燥砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できるから容器に回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
皮膚、粘膜、着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。

局所排気・全体換気　局所排気装置、全体排気装置のある換気の良い場所で取り扱う。

注意事項　保護具を着用して作業する。
取扱い後は手洗い等を十分に行ない、衣服に付着した場合は着替える。

保管条件　幼児の手の届かない所に置くこと。
直射日光を避ける。
火気、熱源から遠ざける。
通風を良くし、ガス又は蒸気が滞留しないように容器を密閉して保管する。

８．ばく露防止及び保護措置

物質名	管理濃度	日本産業衛生学会 (mg/m^3)	ＡＣＧＩＨ
酸化チタン	―	1.0	10mg/m^3
スズ化合物	―	―	TWA 0.1mg/m^3(Snとして) STEL 0.2mg/m^3(Snとして)

設備対策

取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものを置かないような設備とすること。
密閉場所で作業する場合には、局所排気装置を取り付けること。
防災シャワー、手洗い、洗眼設備を設置する。

保護具

眼の保護　保護眼鏡を着用する。

皮膚の保護　ゴム手袋を着用する。

呼吸器系の保護　有機ガス用防毒、防塵マスクを着用する。
密閉された場所では送気マスクを着用する。

９．物理的及び化学的性質

	内容物	
物理状態	ペースト	
色	各色	
臭い	特異臭	
融点	データなし	
沸点	データなし	
可燃性	データなし	
爆発下限界及び爆発上限界	データなし	
引火点	約 100℃	
自然発火点	データなし	
分解温度	データなし	
PH	データなし	
粘度（粘性率）	150～450Pa・s	
溶解度	水に難溶	
ｵｸﾀﾉｰﾙ／水分配係数	データなし	
蒸気圧	データなし	
密度	1.31	
相対ガス密度	データなし	
粒子特性	データなし	
その他	データなし	

１０．安定性及び反応性

反応性	空気中の水分と反応する
化学的安定性	通常の条件では安定である
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	高温多湿な場所での保管
危険有害な分解生成物	データなし
混触危険物	酸、強酸、塩基、強塩基

１１．有害性情報

急性毒性（経口）	酸化チタン	LD50　>20000mg/kg
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	LD50　 11400mg/kg
急性毒性（経皮）	酸化チタン	LD50　＞10000mg/kg
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	酸化チタン	分類できない
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵/ﾐｽﾄ）	酸化チタン	LC50　＞6.82mg/L
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	分類できない
皮膚腐食性/皮膚刺激性	酸化チタン	区分に該当しない
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	酸化チタン	区分 2B
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	区分 2B
呼吸器感作性または皮膚感作性	酸化チタン	呼吸器感作性：分類できない 皮膚感作性：分類できない
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	呼吸器感作性：分類できない 皮膚感作性：区分 1
生殖細胞変異原性	酸化チタン	区分に該当しない
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	区分に該当しない
発がん性	酸化チタン	分類できない
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	分類できない
生殖毒性	酸化チタン	分類できない
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	区分に該当しない
特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	酸化チタン	分類できない
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	分類できない
特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	酸化チタン	分類できない
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	分類できない
誤えん有害性	酸化チタン	分類できない
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	分類できない

１２．環境影響情報

水生環境有害性　短期（急性）	酸化チタン	分類できない
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	区分 1

水生環境有害性　長期（慢性）	酸化チタン	分類できない
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	区分１
オゾン層への有害性	酸化チタン	分類できない
	ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂	分類できない

生体毒性　情報なし
残留性・分解性　情報なし
生体蓄積性　情報なし
土壌中の移動性　情報なし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適性に処理する。
汚染容器・包装　内容物を使い切ってから分別廃棄する。

１４．輸送上の注意

陸上輸送　消防法、道路法等に定められている運送方法に従う
海上輸送　船舶安全法に定められている運送方法に従う
航空輸送　航空法に定められている運送方法に従う
国連分類　該当しない
国連番号　該当しない
特別の安全対策　転倒、落下並びに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行なう。

１５．適用法令

消防法　非危険物
労働安全衛生法　表示対象物質：酸化チタン
通知対象物質：酸化チタン
すず及びその化合物
皮膚刺激性有害物質：ビスフェノールA型エポキシ樹脂
変異原性化学物質：ビスフェノールA型エポキシ樹脂
労働基準法　疾病化学物質：ビスフェノールA型エポキシ樹脂
船舶安全法　該当しない
航空法　該当しない

化学物質管理促進法　該当しない
毒物及び劇物取締法　該当しない

１６．その他の情報

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意してください。なお、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。